

明代中国の疑獄事件



[明代中国の疑獄事件 下载链接1](#)

著者:川越泰博

出版者:風響社

出版时间:2002-2

装帧:平装

isbn:9784894890114

明の洪武帝は、皇帝権強化や政治改革のため五つの疑獄事件を発動したといわれる。本書は、従来功臣や官僚排除のためとされてきた「藍玉の獄」をつぶさにとらえ直し、洪武帝がこの事件で真に意図したものは何か、を探究するものである。

作者介绍:

川越泰博（かわごえ やすひろ）

1946年、宮崎県日南市に生まれる。

1976年、中央大学大学院文学研究科博士課程単位取得。

現在、中央大学文学部教授（大学院併任）、博士（史学）。

著書に、『中国典籍研究』（国書刊行会、1978年）、『北京小史』（国書刊行会、1982年）、『明代建文朝史の研究』（汲古書院、1997年）、『明代異国情報の研究』（汲古書院、1999年）、『明代中国の軍制と政治』（国書刊行会、2001年）など。

目录: 序語

第一章 涼国公藍玉とその死

一 藍玉の獄に至る時代状況

二 藍玉のパーソナリティ

三 藍玉誅殺の月日

第二章 『逆臣錄』と『藍玉党供状』

一 藍玉党と『逆臣錄』

二 『逆臣錄』と『藍玉党供状』

第三章 藍玉の獄と詩人王行

一 王行に関する伝記史料

二 王行の履歴

三 王行と藍玉の獄

第四章 沈萬三一族の藍玉の獄

一 陳高華氏論文簡介

二 沈萬三一族と藍玉の獄

三 再び陳高華氏論文について

第五章 藍玉の獄とモンゴル人——乃兒不花とその周辺

一 達官乃兒十花とは?

二 乃兒不花という人物

三 乃兒不花誅殺の背景

四 乃兒不花告発の波紋

第六章 藍玉の獄に連座した火者たち

一 火者の連座事例

二 火者の来由

三 火者と宦官との間

四 火者と功臣家の家政

第七章 刀鋸の彼方に

一 還郷政策の行方

二 文臣官僚の連座

三 武臣・衛所官軍の連座

四 衛所官の配置転換

五 刀鋸の由来

後記

索引

[付1] 『逆臣錄』所載藍玉党人名一覧

[付2] 皇帝直属親軍衛関係の連座者

・・・・・ (收起)

[明代中国の疑獄事件 下載链接1](#)

标签

爱人

照片

法制史

明史

政治史

评论

[明代中国の疑獄事件 下载链接1](#)

书评

[明代中国の疑獄事件 下载链接1](#)